

教 地誌学概論

地誌

Introduction to Topography

ARAHATA Takashi

荒畑 隆

■授業の目的

グローバル化する現代社会において、世界諸地域の自然環境や歴史的背景・文化を知ること、これからますます重要になる。「地誌」は地域像を理解する手がかりとなるので、世界各地の基礎的知識・教養を身につけることを目指す。

■授業の到達目標

メンタルマップで、世界地図をおおまかに描け、その中に学んだ事象を記入し、各地域の特徴を把握できていること。さまざまな地域の国と我が国を比較し、共通性や特殊性を認識するとともに、国際理解に資する。

■授業計画

〔前期〕

- 1 世界の自然環境
メンタルマップを描き、地理的事象を記入させる。世界の大地形、世界の気候区分の概要を学ぶ。
- 2 世界の人文環境 I
世界の農牧業、世界の鉱工業、サービス産業など多様な経済活動に関する基礎的知識を把握する。
- 3 世界の人文環境 II
人種・民族・言語・宗教など世界の多様性の理解。各地でみられた人種問題、おもな民族問題の整理を行う。言語・宗教に関する各地域の問題を調べまとめる。
- 4 東アジア I
アジアの地形と気候。日本の地形と気候の概要を整理する。日本の東西文化の相違性。少子高齢化・社会環境問題。日本の領土問題。
- 5 東アジア II
大韓民国の地誌（分断国家・朝鮮半島の自然・韓国の人びとの暮らし）、工業化が著しい韓国。中華人民共和国の自然環境。多民族からなる中国と行政区分。
- 6 東アジア III
中国社会の変化（一人っ子政策とその変化、人民公社から生産責任性へ）。中国の農業地域、発展する沿海地域。中国辺境部（雲南省）。現代中国の課題。
- 7 東アジア IV
台湾（地形、民族、食文化）。モンゴル（民族と歴史、自然と遊牧、首都・観光立国を目指すモンゴル）。
- 8 東南アジア I
東南アジアの多様性（地勢・自然、歴史的背景）。タイ（自然と民族・文化、プライメートシティの代表、バンコクの都市問題）。ミャンマー（自然、近年の発展、人びとの暮らし、ロヒンギャ問題）。
- 9 東南アジア II
マレーシア（自然、プランテーションの変化、多民族社会の形成と多宗教の国、新行政首都プトラジャヤ）。シンガポール（都市国家の発展、華人社会の特色と変容）。
- 10 東南アジア III
インドネシア（島嶼国家の自然環境、人口過密なジャワ、複合民族国家と宗教、豊かなプランテーション農業、石油から石炭へ）。東南アジアの環境問題（失われるマングローブ林、エビ養殖池の転換）。
- 11 南アジア・西アジア I
南アジアの言語と宗教。インド（地形と気候、ヒンドゥー教とカースト制度、期待される農業と農業開発、産業）。
- 12 南アジア・西アジア II
インド（特色ある州・都市、南北の格差）、世界に広がるインド人移民。スリランカ（自然環境、シンハラ人とタミル人）。西アジア（民族と文化、ムスリムの生活、オアシス農業、石油大国の光と影）。
- 13 アフリカ I
アフリカの地形と気候（広大な砂漠と地溝帯、熱帯と乾燥帯の大陸）。アフリカの農業（タンザニアにおける農村調査、ケニアのプランテーションと観光、ガーナにおけるカカオ栽培）。
- 14 アフリカ II
植民地支配の傷跡（多民族国家ナイジェリア、ルワンダ内戦、ソマリア、ダルフル紛争）。南アフリカ共和国（先住民、植民地のから独立、アパルトヘイトの廃止）。南スーダン共和国。希望の大陸アフリカ。
- 15 前期地誌のまとめ
世界の大地形、世界の気候区分、東アジア、東南アジア、南アジア・西アジア、アフリカ地誌の整理と演習。

〔後期〕

- 1 ヨーロッパ・ロシア I
ヨーロッパの地形と気候（地形の特徴、気候、農業地域）。ヨーロッパの民族・宗教・言語、EU（ヨーロッパ統合の歩み）。
- 2 ヨーロッパ・ロシア II
イギリス（地形と気候、産業の発達）。オランダ（ポルダーの形成、デルタ計画、21世紀の海面上昇に備えて）。パチカン市国。スイス（小さい巨人、観光立国の戦略、首都ベルンと主要都市）。
- 3 ヨーロッパ・ロシア III
ロシアとその周辺諸国（ソビエト連邦の成立と崩壊、自然環境、ロシア連邦の産業・シベリア開発）。
- 4 ヨーロッパ・ロシア IV
ウクライナ。バルルーシ。バルト3国。中央アジアの国々。カフカス3国。モルドバの特徴。
- 5 アングロアメリカ I
アングロアメリカの地形と気候。アメリカ合衆国の自然災害（竜巻、地方風、地震・火山災害、その他の自然災害）。
- 6 アメリカ合衆国
「移民の国」多民族国家（WASPとヒスパニック）。世界の食料基地（アメリカの農業地域）、鉱工業の発展とサンベルトの形成。アメリカ多国籍企業。
- 7 カナダ
広い国土と多文化主義。カナダの先住民（ストーン一族、ハイダ族、イヌイットとエスキモー）。
- 8 ラテンアメリカ I
ラテンアメリカの地形と気候（地形の特徴、気候）。メキシコ合衆国（自然環境の特色、多様な文化、マヤ文明、海上都市メキシコシティ）。
- 9 ラテンアメリカ II
ブラジル（自然・多民族社会の形成、ノルデステと呼ばれる地域、アマゾンと日本人移民）。アンデス山中の高山都市（インカ帝国の盛衰、高山都市の発展、アンデスでの暮らし）。
- 10 オセアニア・ハワイ I
オーストラリア（安定陸塊のオーストイラリア、気候と農業地域、豊富な鉱産資源と輸出、アボリジニの生活、白豪主義から多文化主義へ）。
- 11 オセアニア・ハワイ II
ニュージーランド（地形の特徴、気候と産業、マオリの生活、西欧人の渡来から近代国家の成立へ、ポリネシア・トライアングル）。フィジー（南太平洋の島国、歴史）。
- 12 オセアニア・ハワイ III
フィジー系住民の生活と文化、フィジーの経済を支えてきた砂糖産業、観光産業への転換。観光開発がもたらすもの。ハワイ（地形と気候の多様性、歴史と開発）。
- 13 環境問題の克服
地球環境問題の現状。水と食料が不足する。増えすぎる炭素・窒素・リン。化学物質による汚染。外来種の問題。
- 14 日本と世界のこれから
グローバル化のなかで日本を考える（貿易・ODA、日本企業の海外進出、領土問題、国連、TPPでの日本の役割）。
- 15 後期地誌のまとめ
ヨーロッパ・ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアの地誌の整理と演習。メンタルマップの作成。

■授業の方法

資料を画面カメラやPCを使用しながら、各回のプリント演習をベースに進めていく。各回毎に小テスト（記述式）で知識の定着化を図る。メンタルマップの作成や作業学習で自発的な学習展開を行う。

■予習・復習

教科書の内容を予め読んでおくことを求め、知識・理解・判断を求める内容を含む作業的プリントの予習を求める。各地域の地誌を学ぶうえで重要な基礎的知識については小テストで確認していく。

■成績評価の方法

作業プリントの取り組み状況をチェックし、日常の小テストの出来を評価（20%）に入れる。メンタルマップの提出により地理的事象がそこにどれだけ反映しているかをみる（10%）。前・後期テスト（70%）。

■教科書・参考書

教科書 図説 世界地誌【改訂版】辰己 勝・眞知子著（古今書院）
参考書 新詳高等地図（帝国書院）